

平成20年度財団法人滝川市体育協会スポーツ賞（学校関係）受賞者名簿

表彰日：平成21年3月14日（土）午後4時30分（滝川スポーツセンター会議室）

区分	推薦団体	氏名等	功績の概要
奨励賞	江部乙小 (2年) バドミントン協会	うちやま まき 内山 真希 (平12.5.23) 8歳	平成20年6月28日北見市で開催された第9回全国小学校A・B・Cバドミントン大会北北海道予選会において女子Cクラスで優勝、全国大会出場
奨励賞	滝川高等学校 (2年)	にしだ きおり 西田 沙織 (平3.5.9) 17歳	平成20年9月25日札幌市厚別公園競技場で開催された「第24回北海道高等学校新人陸上競技大会」女子やり投げにおいて優勝
奨励賞 (会長賞)	滝川高等学校 (2年)	みやの りょう 宮野 涼 (平4.1.31) 17歳	平成20年9月25日札幌市厚別公園競技場で開催された「第24回北海道高等学校新人陸上競技大会」男子走高跳において優勝 ※19.3.17 奨励賞受賞 (2度目の受賞：会長賞として授与)
奨励賞	滝川高等学校 (3年)	なが おか せい や 長岡 誠 弥 (平2.6.25) 18歳	平成20年8月23日北見市東陵公園陸上競技場で開催された「第63回国民体育大会陸上競技北海道代表選手選考会」少年A男子やり投げにおいて優勝
奨励賞	滝川西高等学校 (3年)	こんの ひさし 近野 永 (平2.11.28) 18歳	平成20年8月23日北見市東陵公園陸上競技場で開催された「第63回国民体育大会陸上競技北海道代表選手選考会」少年Aハンマー投において優勝 平成20年6月17日第61回全道高校体育大会陸上競技男子ハンマー投で優勝

区分	推薦団体	氏名等	功績の概要
奨励賞 (特別賞)	滝川西高等学校 (3年)	えちご しょうま 越後 翔馬 (平3.2.8) 18歳	平成20年6月17日第61回全道高校体育大会陸上競技男子棒高跳で優勝 平成20年7月12日第81回北海道陸上競技選手権大会男子棒高跳び優勝 ※17.3.18、18.3.19 3度目の受賞 (特別賞として授与)
奨励賞	滝川西高等学校 (2年)	まつもと りょうが 松本 涼雅 (平3.4.3) 17歳	平成20年8月6日（水）大樹町で実施された平成20年度B&Gスポーツ大会北海道大会「水上の部」カヌー競技高校生男子クラス優勝
奨励賞	江陵中学校 (3年)	まつうら けん と 松浦 拳人 (平6.3.16) 14歳	平成20年9月7日行われた第10回北海道ジュニアオリンピック陸上競技選手権大会兼第39回ジュニアオリンピック陸上競技大会北海道選手予選会（函館）において走高跳で優勝
奨励賞	第1小学校 (6年)	やしき ゆき え 屋敷 雪絵 (平8.11.11) 12歳	平成20年8月6日（水）大樹町で実施された平成20年度B&Gスポーツ大会北海道大会「水上の部」カヌー競技小学生女子クラス優勝
奨励賞	滝川第1小学校 (6年)	いしぐろ とも き 石黒 智基 (平8.5.30) 12歳	平成20年8月10日北海道立野幌総合体育館プールにおいて開催された「JSCA北海道ブロック夏季水泳競技大会兼JSCAブロック対抗水泳競技大会北海道ブロック選考会」において11歳～12歳男子50m背泳ぎ優勝
奨励賞	滝川西高等学校	軟式野球部	第53回全国高等学校軟式野球選手権大会北海道大会において優勝

平成6年度～平成20年度 海洋センター利用状況表

年度	稼働日数	大会及び 行事参加者	教室 参加者	海洋クラブ	市内団体利用		その他(市外)団体利用		個人利用者(有料)		市内小中 土曜無料	その他	合計
					件数	利用者数	件数	利用者数	小中学生	高校一般			
6	78	2,045	540			1,066	2	212	219	107		926	5,115
7	132	2,008	317			1,376	12	930	497	253		1,047	6,428
8	133	2,094	414			2,139	11	1,017	632	517		884	7,697
9	137	1,147	136			1,967	49	4,272	308	746		539	9,115
10	131	917	130			1,074	59	5,116	579	1,347		1,249	10,412
11	133	635	0			3,241	82	8,071	620	934		922	14,423
12	126	646	0			1,079	75	9,100	411	664		1,105	13,005
13	130	129	0	322	10	501	97	10,377	384	614		1,082	13,409
14	131	65	120	198	22	1,473	93	12,231	412	532	49	847	15,927
15	130	289	5	154	16	1,549	81	9,915	253	358	281	624	13,428
16	133	162	71	187	15	1,215	81	10,663	279	480	188	676	13,921
17	129	291	252	165	12	1,212	67	9,754	211	273	101	437	12,696
18	135	633	339	485	9	1,099	74	10,316	226	367	264	1,691	15,420
19	140	1,140	0	1,174	12	1,237	79	11,399	205	312	258	2,435	18,160
20	139	984	84	1,257	5	537	84	10,296	216	337	195	1,771	15,677

△ / △ 156 + 84 + 83 △ 7 △ 700 15 △ 1103 + 11 + 25 △ 63 △ 667 △ 2483

平成 6年度海洋センター利用者	5,115 人		平成 17年度海洋センター利用者	12,696 人	(前年比 8. 8%減)
平成 7年度海洋センター利用者	6,428 人	(前年比 25. 6%増)	平成 18年度海洋センター利用者	15,420 人	(前年比 21. 4%増)
平成 8年度海洋センター利用者	7,697 人	(前年比 19. 7%増)	平成 19年度海洋センター利用者	18,160 人	(前年比 17. 8%増)
平成 9年度海洋センター利用者	9,115 人	(前年比 18. 4%増)	平成 20年度海洋センター利用者	15,677 人	(前年比 13. 7%減)
平成 10年度海洋センター利用者	10,412 人	(前年比 14. 2%増)			
平成 11年度海洋センター利用者	14,423 人	(前年比 38. 5%増)			
平成 12年度海洋センター利用者	13,005 人	(前年比 9. 8%減)			
平成 13年度海洋センター利用者	13,409 人	(前年比 3. 1%増)			
平成 14年度海洋センター利用者	15,927 人	(前年比 18. 7%増)			
平成 15年度海洋センター利用者	13,428 人	(前年比 15. 6%減)			
平成 16年度海洋センター利用者	13,921 人	(前年比 3. 7%増)			

■ H20 年度利用者数減の原因 (△2,483 人)

- 市内団体数減 (△700 人)
 - ・ H19 年度より小学校利用 5 校減 (雨天等での利用中止)
- 市外団体数減 (△1,103 人)
 - ・ 1 校 150 人以上の学校が、H19 年度より 3 校減
 - ・ 一般団体数 4 団体減 (うち自然教育促進会 458 人減)
- その他利用減 (△667 人)
 - ・ H19 年度マスメディアの取材が多かったのが、H20 年度は例年並みとなる。

昨年より 2,483 人減

ス空知

2009年(平成21年)
1月17日土曜日
発行所
空知新聞社
滝川市緑町1-3-27
TEL0125-22-1333 FAX0125-22-2206

Eメール press_server@pressorachi.co.jp

不要車 低年式車 残債あり 事故車

高価 **カートリ** 売って 買って

驚きの査定!! カーショッスイノウエ

さらに査定で、別の車種で、売ってください。

0125-24-3070

滝川市東町4丁目94番6号

有限会社 井上自動車ボデー

合宿団体過去5年で最多

2つの体育施設好評 1月だけホームページでPR奏功 で5件

【滝川】滝川スポーツセンターと滝川市青年体育センターで合宿をする団体が増加傾向にある。20年中は12団体延べ1844人となり、19年中と比べても団体数は同じだが人数は798人と1046人の増。特に今年1月だけで5件の申し込みがあり、1月の過去5年間の受け入れ状況をもっとも多いという。背景には、ホームページによる広範囲の周知徹底のほか、利用者からも体育館施設が2つ連なっているから良いなどと滝川ならではの施設環境が好評を得ているようだ。数年連続して利用している団体もあり、改めて滝川市の体育施設環境に注目が集まっている。

滝川スポーツセンター周辺

管理する滝川市体育 札幌市内のサッカー協会によると、1月は クール2つと棒高跳び

強化合宿、静内のソフトテニス少年団、札幌市内の中学校ソフトテニス部の5つが合宿を敢行。



合宿団体が増えている滝川の体育施設

昨年と比べると2団体多く延べ人数も1100人と6200人の増。サッカースクールと棒高跳びはここ数年行っているが、静内と札幌のソフトテニスに初めての滝川合宿で、ホームページなどで滝川市を選定したとみられる。この背景には、同協

会が平成18年からホームページを立ちあげ、各種情報を発信。1日30〜50のアクセスがあり、施設紹介コーナー

ではサイクリングターミナルとの併用で合宿に最適な施設環境をPRした。

そのかいあってか、年々利用状況も増え、札幌市内のサッカースクールもホームページを見てから利用し、以降3年連続で合宿を行っているという。

また、利用者からの声では、札幌や旭川では体育施設を確保するのが困難で、近場の滝川を選ぶ傾向があり、何よりも2つの体育館をもつことで大人数でも練習場所が確保でき

ることが最大のメリットとなっている。

このほか、滝の川運動公園は各種運動施設が揃っており、市内施設の優遇券も発行。近隣では新十津川のサライとも提携し、宿泊場所のみをサライにするサービスも取り入れたのが奏功している。

夏休みには高校のバスケット部なども新たに合宿に訪れるようになっており、同協会では「今後もより一層のPRに力を入れていきたい」と話している。

【佐藤学】